



ひみこちゃん

記紀万葉の地を訪れる - その7 -

今回は、市民目線で「桜井のとおき」を選んだ「大和さくらい100選」の中から、桜井市出雲にある「十二柱神社」に行ってきたよ～。

「十二柱」とは、イザナギ・イザナミノミコトや天照大神など、あわせて12の神様を祀ることから付けられた名前だよ。十二柱神社の境内には、桜井市出雲にゆかりのある野見宿禰のみのすくねの五輪塔が建てられているよ。『日本書紀』には、第11代垂仁天皇たひまのけはやのとき、野見宿禰と当麻蹴速が天覧相撲を取って、野見宿禰が勝利したと書かれていて、力士の元祖として知られているよ。



第11代垂仁天皇が殉死の風習を改めようとした際に、野見宿禰は、「人馬などの土の人形を造ってはどうか」と提案し、出雲の国から100人の土部を呼び寄せ、今の桜井市出雲で土偶を作ったと言われているよ。これが後に埴輪となり、初瀬地域では伝統的な郷土民芸品である「出雲人形」として今に伝えられているよ。



また、この神社には第25代武烈天皇はつせなみきのみかが泊瀬列城宮を置いた場所として伝承地の碑が建てられているよ。

出雲人形は、昔から「長谷詣りまい」のおみやげとして親しまれてきたよ。大和さくらい100選においても「野見宿禰の意向を今に伝える土人形」として、選ばれているよ！



神社参道の階段を登ったところにある狛犬の台座には、相撲取りの人形があって、とっても珍しいよ。

4人で台座を支えているよ～



たまにつぶやいてるからチェックしてな～

「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課 (☎ 42 - 9111 内線 348)

E-mail : kanko@city.sakurai.lg.jp

twitter @himiko__chan

【観光まちづくり課】